

【教示と回答例】

ここ一週間のあなたの状態についてお聞きします。

下に出てくる文章について、自分にあてはまるところを○で囲んでください。

質問項目中の「薬物」「薬」は、あなたが問題にしている薬物のことを思い浮かべてお答えください。

×, △, ○のうち、どれかひとつを○でかこんでください

あまりあてはまらない
あてはまらない
ややあてはまる
あてはまる

例) よく眠れる × △ ○

【項目】

【刺激脆弱性 (Stimulus-induced vulnerability; SV)】

状況次第 (目の前に酒がある時・誘われた時・ひとりである時) で酒を飲んでしまう可能性について測定するものです。

- ・目の前に実際に酒があれば飲んでしまう × △ ○
- ・目の前で酒をすすめられたら断われない × △ ○
- ・目の前で酒を誘われたら、NO とはいえない × △ ○
- ・街で友達に誘われれば飲んでしまうと思う × △ ○
- ・飲み会などでもりあがったときには飲んでしまうかもしれない × △ ○
- ・ひとりになったら飲んでしまう × △ ○
- ・近い将来、酒を飲む気がする × △ ○
- ・体をこわしてでも酒が飲みたいと思う × △ ○
- ・病院の中でも友達に誘われれば飲んでしまう × △ ○

【感情面の問題 (Emotionality problems; EP)】

さみしさ・やる気のなさ・不安・感情のコントロールできなさなど、さまざまな感情面の問題についてその程度を測定するものです。

- ・孤独でさみしいと感じている × △ ○
- ・何に対してもやる気がない × △ ○
- ・将来にたいして不安を感じている × △ ○
- ・自分の気持ちがコントロールできないと感じている × △ ○
- ・まわりの人の言葉がわずらわしいと思う × △ ○
- ・いらいらしている × △ ○
- ・仕事や就職について、大きな問題をかかえている × △ ○
- ・退屈だなと感じている × △ ○

【アルコールへの衝動性 (Compulsivity for alcohol; CA)】

たとえ反社会的な行為だろうが何をしても酒を手に入れたいという飲酒への衝動性を測定するものです。

- ・盗^{ぬす}んででも酒がほしいと思うことがある × △ ○
- ・酒を飲むためならほとんど何でもするだろう × △ ○
- ・酒を買うお金をかせぐためならなんでもしようと思う × △ ○

【酒害認識 (ネガティブ期待) の欠如 (Lack of negative expectancy for alcohol; NE)】

酒害 (飲酒によりもたらされるネガティブな結果) について充分自覚できていない程度を測定するものです。

- ・もし酒を飲んだら、仕事に影^{しごと}響^{えいきやう}が出ると思う (逆転項目) × △ ○
- ・もし、酒を飲んだら、すぐにまともな行動がとれなくなってしまうと思う
(逆転項目) × △ ○
- ・もし少^{すこ}しだけでも酒を飲んだら、飲み続けてしまうだろう (逆転項目) × △ ○
- ・酒を飲んだら、落ち着かなさを感じると思う (逆転項目) × △ ○

【アルコールへのポジティブ期待 (Positive expectancy for alcohol; PE)】

飲酒によるポジティブな効果 (うまくいくように感じる・元気になる) への期待を測定するものです。

- ・酒を飲むと、なんでもものごとがうまくいくように感じる × △ ○
- ・酒を飲むと元気になれる気がする × △ ○
- ・もし酒を飲めば、どうしようもないさびしさから救^{すく}われるように感じるだろう × △ ○

【病識の強さ項目】

自分がアルコール依存という病気であるという病識を充分持っているかどうかを測定するものです。

- ・自分の力だけで酒をやめられると思う (逆転項目) × △ ○
- ・ずっと酒を飲まないでやっていくことができそう (逆転項目) × △ ○
- ・もう大^{だいじょうぶ}丈夫だと思^{おもう}う (逆転項目) × △ ○
- ・もう酒を飲まないという自信がある (逆転項目) × △ ○
- ・自分は依^{いぞんしょう}存症だと思^{おもう}う × △ ○

【実施上の注意点】

- ・項目は上記のものをランダムに配置して用います。
- ・×=1点, △=2点, ○=3点で各項目を得点化します。
- ・各下位尺度は単純平均得点 (もしくは合計得点) を算出して評価します。
- ・5つの下位尺度の全平均得点 (もしくは合計得点) をARRS総合得点とします。
- ・病識の強さ項目については補助的に用います。得点化し合計点を算出したのち、合計点が極端に低い者 (全平均もしくは合計が最低点 (1点) にしかならないなど) に関しては、否認している可能性を疑います。

【得点の解釈について】

- ・再飲酒につながる要因は個人によって多様である面も多く、本尺度では明確なカットオフポイント（この得点以上をとった場合は再飲酒危険域等）のようなものは設けておりません。
- ・基本的には継続的な実施による変動、もしくは他の変数との関連の中で得点を評価していただければと思います。
- ・参考に、標準化に用いたデータによる、継続飲酒（最初の測定時点で飲酒が止まっていない）の有無とスリップ（1ヶ月後のフォローアップ時点で飲酒している）の有無による ARRS 下位尺度・合計得点の平均得点（標準偏差）を示します。なお、得点は範囲 1-3 の平均得点として算出しています。得点評価の際、ひとつの参考としてください。

継続飲酒・スリップ(1ヶ月)の有無によるARRS下位尺度・合計得点(標準偏差)

		刺激 脆弱性	感情的 問題	衝動性	酒害認識 不足	ポジティブ 期待	ARRS 合計平均
継続飲酒	あり(N=51)	1.95 (.557)	1.93 (.630)	1.33 (.520)	2.13 (.621)	1.89 (.738)	1.85 (.316)
	なし(N=163)	1.35 (.386)	1.74 (.532)	1.16 (.310)	1.87 (.575)	1.42 (.513)	1.53 (.312)
スリップ (1ヶ月以内)	あり(N=30)	1.71 (.581)	1.89 (.604)	1.18 (.426)	2.02 (.635)	1.73 (.705)	1.70 (.323)
	なし(N=93)	1.36 (.396)	1.77 (.562)	1.17 (.346)	1.80 (.570)	1.48 (.533)	1.53 (.296)

・下線が両群で有意差 ($p < .05$) の認められたもの、斜体は有意傾向 ($p < .10$)

・下位尺度・合計得点共に範囲1-3の平均得点として算出している